

機  
関  
誌

# お お は い ご ん

## *contents*

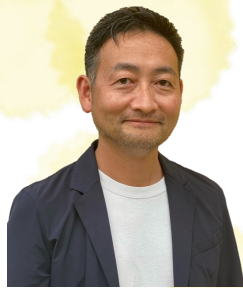
- ・ 巻頭言
- ・ 中国地区合同研修会参加報告
- ・ 協会員＝士会員のお知らせ
- ・ 専門部コラム 脳血管障害チーム編
- ・ リエイブルメント推進委員会連載
- ・ 季節のたより／おすすめ書籍
- ・ 施設紹介
- ・ 司法と作業療法
- ・ 「わたしが元気になれること」／季節を感じるモノ
- ・ おおはいごんアンケート
- ・ 【特集】ジャズミンのちょっと一言いかしら
- ・ 2026年度定時社員総会のご案内
- ・ お知らせ
- ・ 入会手続きについて／編集後記

2026 4  
Spring Vol.12



一般社団法人  
島根県作業療法士会  
Shimane Association of Occupational Therapists

# 巻頭言



(一社) 島根県作業療法士会  
会長  
小林 央

## 令和八年度 新年度スタート

医療・介護を取り巻く環境が大きく変化する中で、作業療法士には、専門領域にとどまらない柔軟な関わりと、地域社会への積極的な参画が求められています。島根県作業療法士会においても、こうした社会からの要請を受け止め、近年さまざまに取り組みを進めてまいりました。今年度も少しずつその歩みを一緒に進めましょう。

### 社会からの要請に 応える会の活動へ

職能団体が果たす役割はどこにあるのでしょうか。

私たち「作業療法士」は、日々の作業に困難が生じている、またはそれが予測される人と臨床場面で毎日向き合っています。

私たち「作業療法士会」が向き合うべき社会的課題は、医療・介護分野だけにとどまりません。

一例を挙げれば、拘禁刑の導入により司法領域に知見を活かします。超高齢化先進県にある島根で市町村が担う地域支援事業の質的向上、運転寿命の延伸と安全な移行支援などお子さんの育ちや生活のしづらさにも直接・間接的に関わります。

まさに、今、生活と社会参加に深く関わる課題に対して、作業療法士の専門性が強く求められています。

### これからの課題と 実践の積み重ね

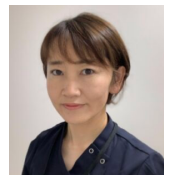
行政や関係団体との更なる連携も、これからの課題の一つです。県や市町村が進める事業への協力や意見交換を通じて、作業療法士の専門性を発信し続ける必要があります。

島根県は、中山間地域や離島を多く抱え、人口減少や資源の制約といった課題を有しています。そのような地域だからこそ、生活の視点を強みとする作業療法士が果たせる役割は大きく、社会からの期待も一層高まっています。私たち一人ひとりの実践の積み重ねが、作業療法士会としての信頼につながっていくことを、改めて意識する必要があります。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

つながり、

学び、

次世代へ



生涯教育部 副部長  
立川 純子

令和七年十二月六日、山口県土  
会主催による「令和七年度中国地  
区作業療法士会合同研修会」が開  
催され、小林会長、森脇副会長、  
堀江事業部部长と、私・立川で出  
席しました。同日開催の県学会と  
体調不良で欠席の佐藤部長に後  
る髪を引かれる思いでの参加とな  
りました。

本研修会では「次世代につなぐ  
ために必要なこと」をテーマに、  
人材育成部門、広報・啓発部門、  
生涯教育部門の三部門に分かれグ  
ループトークが行われました。生  
涯教育部門では、新生涯学修制度  
への移行、認定作業療法士申請要  
項のひとつである事例報告の査読  
体制、研修会運営における課題や  
トラブル対応が主なトピックスと  
して取り上げられました。

新生涯学修制度への移行は大き  
な話題で、各県が対応に追われて  
いる現状が共有されました。全会  
員対象のWEB説明会の実施、調  
整委員会の設置、施設長会議での  
周知、相談窓口で対応など、各県  
の工夫が報告されました。一方で  
相談件数の増加や旧制度と新制度、

の混在による混乱も報告され移行  
期ならではの悩みが共有されまし  
た。今後は、協会から提供予定の  
広報資料の活用にも期待が寄せら  
れており、島根県でも順次対応を  
進めていく予定です。

認定作業療法士申請にかかる事  
例報告の査読体制については、各  
県とも十分確立されていない現状  
があり、大学教員や査読委員への  
依頼での対応が紹介され参考にな  
りました。有料で請け負うSIG  
団体の存在も報告され、士会が無  
料で支える意義と、専門的助言の  
価値をどう捉えるかについて意見  
が交わされました。会員の学びを  
支える仕組みとして、改めて士会  
の役割を考える機会となりました。  
今回の研修を通して、各県士会  
が「変化する時代にどう対応し、  
会員をどう支えていくか」という  
思いを形にする工夫を垣間見るこ  
とができました。今後も中国地区  
の連携を深めながら、より魅力あ  
る島根県作業療法士会を目指して  
いきたいと思えます。

## 中国地区合同研修会に参加して



湯田温泉駅に到着。  
列車の旅に少しお  
疲れの副会長は、  
名物オブジェ「ゆ  
うたくん」に気づ  
かず会場へ。



# 協会員⇨士会員に

## なります

### 協会員⇨士会員って？

日本作業療法士協会と都道府県士会の相互連携・入会促進を目指す方針のことです。

### どんなメリットがあるの？

協会そして士会双方に、職能団体の全国的な団結力強化、組織運営の効率化、入退会や会費入金、会員情報の変更といった事務手続きが一括で済む利便性の向上などがあります。また、地域での活動と全国的な組織活動の連携がより円滑になり、両方の組織の活動意義を全体に普及させることが期待できます。

### 生涯学修制度においての 必要条件！

登録作業療法士制度の前期と後期研修を進めていく中で、士会への所属が問われるほか、認定作業療法士の申請および更新要件・条件として、所属する士会が発行する会員歴証明書が要です。

### これまでの流れ

協会は、協会員⇨士会員に向けて取り組んできましたが、いくつかの本質的な理由から合意することが困難である士会があることが分かったため、新方策(下記QRコード参照)のもと改めて協会員⇨士会員を目指すことになりました。当会は新施策のもと、協会の会員管理システムを使つての士会員管理体制への移行、また二〇二五年度よ

り定款検討委員会を立ち上げ、定款・定款施行規則の変更を最速で、二〇二七年度の総会承認を目標に検討を行ってきました。

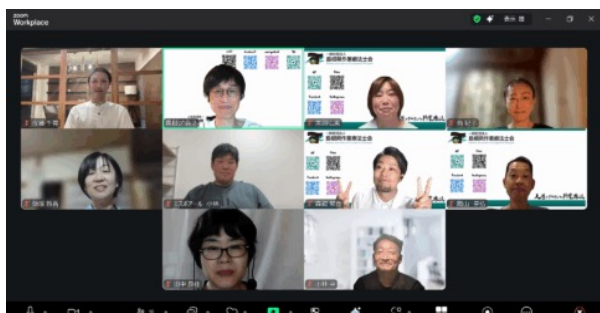
### そして、これから

今すぐという訳ではございませんが  
当会定款・定款施行規則の変更に向け  
て、既に協会員並びに当会員となられている方に関しては引き続き現状を維持していただき、**協会員ではあるが当会に入会していない方には当会への入会を、協会に入会していない方が当会の方には協会に入会していただく方向で準備をお願いします。**

また、身近に協会、当会どちらにも入会されていない方がおられましたら両会への入会をお勧めください。



事務局長  
岩本 悠



定款検討委員会 WEB開催



協会員⇨士会員を目指すということ  
～日本作業療法士協会ホームページより～

# 専門部 コラム

記事執筆  
稲垣杏太  
(島根大学医学部附属病院)

## 活動報告

一月に、脳血管障害チームの部内勉強会を開催しました。今回は隠岐広域連合立隠岐病院の小川勝さんより、「脳卒中治療ガイドライン」をテーマにご講義いただきました。当たり前のように参照しているガイドラインですが、国ごとの考え方の違いを掘り下げることで、私たちが臨床で果たすべき役割が浮き彫りとなったと感じました。

## 開催した理由

当チームは、県士会員の皆様が抱える臨床の悩みを少しでも解決できるように、今後、相談窓口を設置する予定です。その際、相談を受ける私たち部員自身が、国内のガイドラインのみならず各国のガイドラインも理解しておく必要があると考えました。単一の基準に縛られず、世界的な動向も参考に俯瞰的に臨

床を捉えることで、皆様の悩みに対してより「多角的で、本質的なアドバイス」を提示したい。」という想いから、今回の部内勉強会を企画しました。

## 当日の内容

講義では、日本・米国・欧州・英国の各ガイドラインの立ち位置の違いが示されました。日本のガイドラインが「医療の標準化と説明責任」を重視するのに対し、英国（NICE）、英国国立保健医療研究所）などは「臨床家がいかに考えるか」という枠組みを支えるためのものとして機能しています。特に印象的だったのは、海外ではセラピストが「Clinical Reasoner（臨床推論を行う者）」として定義され、判断責任を持つ専門職として位置づけられている点です。

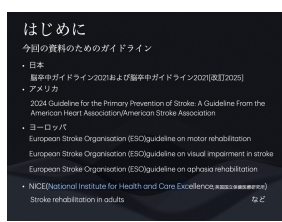
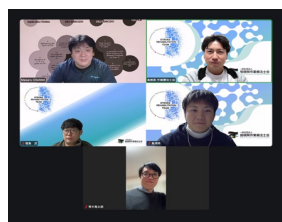
## 見えてきた課題

浮き彫りになったのは、日本の「機能改善重視」と世界の「行為成立重視」のギャップだと感じました。日本では高次脳機能障害を「治療すべき障害」と捉えがちですが、世界的には「行為や学習が成立しにくくなっている状態」と捉え、いかに行為の再獲得を図るかに焦点を当てています。私たち作業療法士が、評価を単なる点数化で終わらせず、行為の背景にある認知過程（原因）を読み解く「推論の力」こそが今、求められているのだと感じました。私の所感としては、海外の動向は作業療法法の強みをより活かしていると思いました。

## 今回の勉強会を通じて

今回の学びを通じ、行為を見ることへの意識が大きく変わりました。作業療法の本質は、単に麻痺や高次脳機能障害を治すことではなく、対象者の生活文脈の中で行為を再編成するプロセスそのものです。今後は、ガイドラインを「答え」として使うのではなく、より良い臨床推論を組み立てるための「参考材料」として活用し、相談窓口を通じても対象者の「意味ある作業」の再獲得に貢献していきたいと思えます。

こうした学びに触れる機会を部内だけに留めるのはもったいなく、今後、同様の企画をする場合は県士会員の皆様が誰でも参加できるオンライン勉強会として展開することも考えています。また、脳血管障害チームの部員になれば、こうした学びを得られる企画を自ら考案し、深く議論する場に立ち会うこともできます。臨床をアップデートしたい、共に学びを創りたいという熱意のある方は、ぜひ部員としてジョインしてください。私たちと一緒に、島根の脳卒中リハビリテーションを盛り上げていきましょう！



# 地域に出る いいところ

去る令和七年十一月三十日（日）、「地域実践を学ぶ

研究会」と題して、地域支援事業委員会からリエイブルメント推進委員会に生まれ変わって初めての研修会が開催されました。皆様ご多用の中にもかかわらず、多数のご参加をいただき誠にありがとうございました。研修では県内各圏域での地域にまつわる活動が報告され、実際に集いの場に向いた際のふるまい方などについても紹介させていただきました。

これから地域に出てみようという方の一助となれば幸いです。【参考までに…】

まずは依頼の受け方です。現在は多くの圏域で「しまねりハビリティセッションネットワーク（しまりハネット）」を介した依頼が多くなってきました。既存のネットワークが効果的に機能している圏域もあるようですので、そのあたりは地域の実情に合わせて依頼を受けることになりま。私の圏域である益田ブロックに関しては、しまりハネットに依頼があると窓口担当の会員からメンバー全員に連絡が入り、希望者を募っています。希望者が多数の場合は、依頼内容に応じて選定され、派遣されるメンバーが決まるといった流れです。

様々な依頼がありますが、初めて依頼を受けるのであれば集いの場への派遣がお勧めです。なかでも“いきいき百歳体操”など運動指導の依頼内容が取り組みやすいと思います。「集団」、「レクリエーション」、「体操」のラベルが貼ってあるOTの引き出しを開けると、使えそうなものがたくさん入っているのではないのでしょうか。そうです、その引き出しです。多くの方が一度は経験があるかと思えますので、成功のイメージを持ちやすいという点で、おすすめです。

集いの場は地域住民の方にとって、特別思い入れのある場所であることが多いです。そこでは我々は「よそもの」であって、依頼があったとはいえ最初は「招かれざる者」くらい警戒される覚悟を持って臨みます。その警戒を解くために最初にすることは二つです。一つ目は会場をつぶさに観察することです。公民館や集会所である場合がほとんどで、そこには住民の方々が“これを見てほしい”という品々がたくさんあります。

例えば地区対抗のグラウンドゴルフ大会の賞状、奥様方が集まって作った作品（折り紙を△にして組んでいくアレが多め）、地元の名人が手掛けた絵や書などなど。これらについて賞賛のコメントをすると、驚くほどあちらからいろいろと話してくださいませ。

二つ目は、今日のキーマンとなるキヤラ強めのメンバーを見つけておくことです。これにかかっていると、いっても過言ではないほど大事ですが、これは案外簡単です。キヤラ強めの方は会場入りした段階で皆の注目を集め、一目でそれとわかることが多いからです。経験上、大体が“声が大きめの元気な女性”です。この方に簡単にジャブを打っておき、良い返しがあることを確認したら下準備は完成です。

今回は、実際の体操指導の進め方やポイント、会場を盛り上げるキーマンとの熱い駆け引きについて紹介させていただきます。

記事執筆

リエイブルメント推進委員会  
大垣 一樹

（介護複合施設つむぎ）

# 季節のたより

春のやわらかな日差しを感じる季節となりました。新年度がはじまり、職場でも新しい出会いや環境の変化を感じている方も多いのではないのでしょうか。

先日、子どもたちと一緒にピザやパン作りを楽しみました。生地をこねたり、具材を並べたり、思い思いにつくりながら、完成をワクワクして待っている姿がとても印象的でした。焼き上がりが近づくのと、ピザやパンの香ばしい香りが家の中いっぱいにひろがります。子供たちのワクワクは最高潮♪そんな姿を見ていると、親の私も思わずうれしくなってしまうます（笑）

その日のお昼ごはんは、家の庭にシートを広げていただきました。いつもにも増して、楽しい、美味しい時間を過ごすことができました！



冬には冬の楽しみ方があり、春には春の楽しみ方があります。今年の我が家は、パン作りを通して春の陽気を感じながら、良い時間を過ごすことができました。今度はパンを焼いて、家族で公園に行こうと計画中です♪

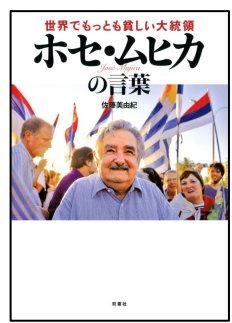
新しい年度の始まりは、慌ただしく感じることもありませんが、ぜひ「身近な作業」の楽しさに触れて、心を整える時間も大切にしたいですね。

皆さまにとって実り多い一年となりますように。



## おすすめ書籍

みなさんこんにちは。医療法人かんど会クリニックかンドの板倉千尋です。私が今回オススメするのは「ホセ・ムヒカの言葉」（佐藤美由紀：双葉社）です。



ホセさんは“世界でもっとも貧しい大統領”としてニュースになり名前を知りましたが、どのような方かはあまり知りませんでした。私は普段漫画しか読まないのですが、数年前に本屋でこの表紙の笑顔に惹かれてつい買ってしまいました。内容を読むとホセさんの生き方と価値観が分かりやすく書かれており、自分の考え方の参考になりました。ただビックリしたのはホセさんが元ゲリラ戦士だった事です。そのためホセさんの言葉は深いかもしれません。特に印象的だった言葉が「貧乏とは、欲が多すぎて満足できない人の事です」。他にも68. 76ページの言葉も響きました。

患者さんや利用者さんに限らず様々な人と関わると思いますが、一人ひとりの生き方があり何に重きをおいているのか、改めて考えさせてくれました。機会があればお読みになってみて下さい。

多機能型事業所（児童発達支援・放課後等デイサービス）

# ハピリなの花

社会福祉法人つわぶきさんからバトンを受け取りました。

HAPPILY + HABILIS + なの花 = ハピリなの花  
（幸福な） （相応しく） （玉依会）

小学生のころ、学校に通う楽しみの1つに給食がありました。給食メニュー表を見て、内容によって気分の浮き沈みがあったように記憶しています。

当事業所に通う児童にとっても、遊び（作業）が楽しみの1つになるよう、作業療法士や保育士が日々の遊びを考え、児童の療育目的に合わせて遊びの場を設定しています。

「運動」「遊戯」「工作」「音楽」「調理」「散歩」に加え、季節に応じて「行事」「外出」「園芸」「菜園」等、多種多様な遊びや活動を取り入れて行っています。

「今日は何の日かな？」と、わくわくする子どもたちの気持ちを想像しながら、今日も作業療法士は考えを巡らせています。



次は、訪問看護ステーションありがとう さんにバトンタッチいたします。  
よろしくお願ひします。

## 医療法人 エスポータル出雲クリニック

寿生苑さんよりご紹介いただきました、医療法人エスポータル出雲クリニックです。

当院は出雲市小山町にある精神科・心療内科のクリニックで、「地域生活支援の場として、悩める人の傍らに寄り添い、その人らしい暮らしの実現を支える」ことを理念に掲げています。外来診療に加え、認知症デイケア、精神科デイケア、高次脳機能障害デイケアなどを実施し、相談支援も行いながら地域で生活されている方々への支援を行っています。



近隣の急性期・回復期病院からの紹介を受け、退院後の継続支援や認知リハビリテーションにも取り組んでいます。現在、作業療法士8名、言語聴覚士2名が在籍し、多職種で連携しながら、個々の思いを大切に、自己実現や安心した地域生活につながる支援を行っています。

次は、医療法人えだクリニック訪問リハビリテーションさんに  
バトンタッチいたします。よろしくお願ひします。



記事執筆  
吉岡 将太

(訪問看護ステーション  
やつか)

## 刑務所という文化の中で、 多職種連携をつくること

司法作業療法の取り組みを進める中で少しずつではありますが、松江刑務所の多職種との連携が形になり始めています。現在は法務教官、担当工場の刑務官、福祉専門官（ソーシャルワーカー）など刑務所職員と情報を共有しながら受刑者の方々に関わる機会が少しずつ増えてきました。これは一重にいつも共に介入いただいている法務教官の森憲司教育専門官のおかげです。しかし、刑務所は作業部門と教育部門が明確に分かれ、部門横断的に情報共有する機会が少ない風土があり、医療・福祉の現場とは異なる独自の文化を持っています。そのため、職種間の連携が自然に生まれるわけではなく、スムーズに進まない場面も少なくありません。

そうした中、刑務所側からは作業療法士が特定の工場に限定されず、刑務所全体に関与してほしいという期待を寄せられるようになりました。また、対応した受刑者の認知機能評価の結果や、作業・生活上の課題について共有いただく機会も増えています。評価を通じて可視化された課題をもとに意見交換を重ねることで、刑務官側も受刑者への関わり方を少しずつ見直し、声かけや作業説明の方法を工夫するなどを取り入れているようです。

さらに、作業環境そのものにも小さな工夫を取り入れました。工場内に受刑者が制作した作品を飾ったり、プランターでの園芸活動、水槽にメダカを置いたりすることで、刑務所特有のコンクリート一面の無機質な作業空間に、社会の場に近い「色」や「生活感」を加える試みを行っています。加えて、生き物の世話という役割を取り入れることで、主体性や責任感を意識する機会が生まれました。こうした環境調整は、作業に向かう姿勢や集中にも良い影響を与えているように感じています。担当刑務官からも、受刑者の作業の集中が高まり、作業の流れが安定する場面が増えてきている印象があるようで、作業内容の説明に対しても、アドバイス通りに対応すると「以前より受刑者が理解しやすくなった」という声が聞かれ、現場から少しずつですが変わってきている実感が共有され始めました。

刑務所という独特な文化の中で、多職種連携は決して簡単なものではありません。それでも、作業療法士が評価と作業、そして環境の視点を持ち込み、共通理解を積み重ねていくことで、職種を越えた対話が生まれ現場に変化が芽生えつつあります。司法領域における作業療法士の役割は、制度と制度、人と人、そして「場」と社会をつなぐ橋渡しのような役割と感じます。



刑務所職員と作業療法士で積極的に情報交換して連携を図っています



受刑者の作品や植木などで殺風景な工場に彩りを取り入れました

# Happy

## 「わたしが元気になれること」

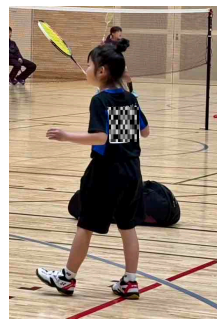
みなさんこんにちは。二〇二五年度より財務部副部長を拝命しました坂本聖也と申します。〇T十三年目になりましたが、初心を忘れず日々臨床で試行錯誤しながら働いております。



坂本聖也  
えだクリニック整形外科  
リハビリテーション科

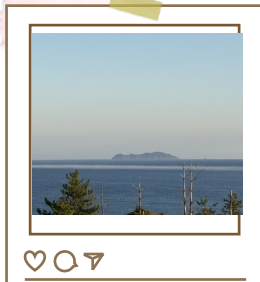


「わたしが元気になれること」・・・子供の習い事への同行です。子供二人が現在バドミントンを習っています。始めて一年が経とうとしています。驚いたことに試合の審判を子供か親がしないといけません。自分自身遊びでの経験しかないため、しっかりと公式ルールを子供と勉強しています。また微力ながら練習では、コーチに交じりシャトル出しやステップなども教えることが出来るようになりました。切磋琢磨している子供の姿を見ると、私も「頑張ろう」と元気や活気をもたらえます。この思いをこれからも現場で発揮していきたいです。



会員から  
届きました!

## 季節を感じる モノ



♡♡▽  
#高島  
#大海原の孤島  
#白線



♡♡▽  
#ツルニチニチソウ  
#春の花



♡♡▽  
#河津桜  
#青空  
#花見



♡♡▽  
#ギザギザ  
#フリンジ咲き  
#チューリップ



♡♡▽  
#咲いた咲いた  
#一面のチューリップ  
#長崎旅行



♡♡▽  
#しだれ桜  
#春

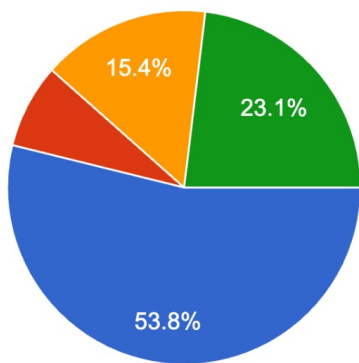
ハッシュタグ#をつけて  
写真を送ってください



# おおはいごん アンケート企画

読者の皆さまに、ちょっとしたことを聞いてみました。

## Q1. 特殊能力を手に入れたとしたらどんな能力？

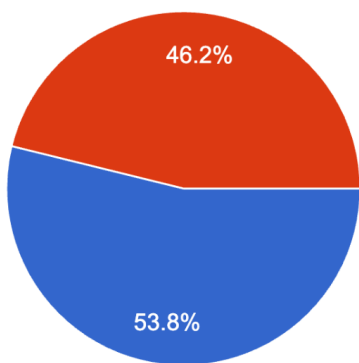


- 瞬間移動で学会の移動もストレスフリー♪
- 透明人間になって推しの舞台裏をのぞいてみたい!
- 予知能力で転倒を未然に防いでみせる
- 時を止めて忘れ物ゼロへ!

透明人間も  
捨て難いよねえ



## Q2. 行くなうどっち？



- 未来の自分やあの人に会ってみたい
- 過去の自分にエールを送りたい!

良い勝負…!



アンケートにご協力いただいた皆様ありがとうございました!



締め切り  
2026年7月1日(水)

広報部では、“おおはいごん”を会員の皆さまと一緒に作りたい”という思いから、毎号アンケートを実施中です。堅苦しい内容ではありませんので、ぜひお気軽にお答えください♪

今回のアンケート結果は次回8月号にて掲載予定です。皆さんで“おおはいごん”の誌面を盛り上げていきましょう!

# ジャスミンの

# ちょっと一言いいかしら

## 令和6年度8月号

ジャスミンさんの一言にクスッと笑ったりライフハックなど参考になる内容が沢山ありました。特に令和6年8月のノンアル飲んでるジャスミンさんが、パラパラチャーハンのコツで冷凍ご飯を自然解凍して作る方法を載せつつ、脱水喚起を灼熱の台所で考えていたのが面白かったです。ジャスミンさん楽しいお話を沢山ありがとうございました！！

先月号で最終回を迎えた、【ジャスミンのちょっと一言いいかしら】愛読していたファンからのメッセージです

## 平成30年度1月号

流れるような文章の展開に、いつも引き込まれていました。この記事はお正月の話題から始まり、気づけば広報部としての意気込みへと自然に展開され、その構成の巧みさが印象的でした。5年目を迎え、コラムの積み重ねと歴史を感じるとともに、今後の広報部の在り方を考えさせられる内容でした。

## 平成28年度7月号

実習指導に関わる記事について印象が残っています。学生とバイザーはそれぞれ立場や価値観が違います。その中でお互いに理解をしつつ相手に伝えていくという作業は難しい、そんな気持ちを面白く掲載されました。とても共感できる内容でした。「バイザーの気持ちと冷酒は後で効く」お後がよろしいようで。

## 令和2年度7月号

「コロナってなんなのよ」コロナによって生活が一変してしまい、外出できなくなって、自由がなくなって…なくなったものばかりの印象でしたが、楽しみ方が変わったのかもと思えるほっこりした記事でした。毎回太っちゃったりお腹が減っちゃったりするのもおちゃめでよかったです。

Thank  
You!

### 令和元年10月号

私が印象に残っている記事は、令和元年10月号の「見学の学生さん」にまつわる記事です。冒頭から笑ってしまいました（笑）内容も、まさにその通りだと感じました。学生の皆さんとの関わりを通して、学生時代を思い出したり、初心に戻り自身を振り返ることも多いです。そして、まじめな内容の後のこの締めも大好きです（笑）

私の中でジャスミンはアメリカの女子高校生というキャラクターにいつからか設定しており、いつも脳内変換して記事を読んでいた。毎回ある「ジャスミンよ」の言い回しはオーバーな手振りをつけて堂々と言っているに違いないといつも想像していました。

こんなファンが居たなんて知るとジャスミンはどう思うのでしょうか？きつといつも通り「結構よ」と言ってくれるに違いないです。

### 平成30年7月号

クライアントからの何気ない一言に、良いことも悪いことも含めて自分自身の振る舞いを振り返ることがあります。そのような場面を「ありがたい」と表現されている点に、とても素敵だなと感じました。この記事を読み、勝手ながら親近感を覚え、気づけば毎号の「ジャスミンコラム」を楽しみにするようになりました。

### 令和7年度12月号

多くの人がジャスミンとの別れを惜しんだ、最終回のこちらの記事が印象に残っています。10年以上も連載が続いていたのが本当にすごいことだと思います。最終回ですが、ハッカ油で虫退治をする話題で、いつものジャスミンのまま終わっていくのが、面白くて、切ないです。またどこかで会えますように！

**おおはいごん**では、  
今後、新コラムも始まる予定です。  
これからもお楽しみにー！

バックナンバーはこちら▼





# 2026年度 一般社団法人 島根県作業療法士会 定時社員総会

2026年

6 / 13 (土)



10 : 00 開始 (受付 9 : 20 ~)

ビックハート出雲 黒のスタジオ

会員の皆様の意見を尊重しより良い士会運営を実行します!

- 10 : 00 ~ 12 : 00 総会前研修
    - 1) 5歳児健診・司法作業療法の県士会としての背景  
講師：小林 央 県士会長
    - 2) 5歳児健診について  
講師：子どもの発達と暮らしサポート委員会 石飛 優 氏
    - 3) 司法作業療法について  
講師：司法作業療法委員会 吉岡 将太 氏
  - 12 : 00 ~ 13 : 00 休憩
  - 13 : 00 ~ 15 : 30 定時社員総会
  - 15 : 40 ~ 17 : 10 生涯教育部主催研修
  - 18 : 30 ~ 福利部主催交流会
- ※同日同会場開催：案内・申込別

お問い合わせ



申し込み

# おしらせ



島根県作業療法士会

## 公式 X アカウントはじめました!

島根県の作業療法士の活躍をリアルタイムでお伝えします!

2024年7月から開始となりました。  
研修会の案内やイベントの情報など随時更新していきます。

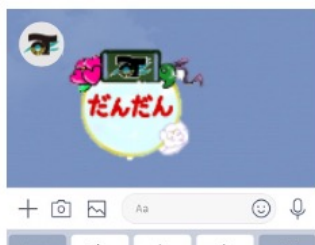
ぜひフォローしてください♪



島根県作業療法士会

## 公式LINEアカウント

県士会主催の研修会やイベント情報をスピーディーに発信します♪



第1-4弾のスタンプを配信中!  
LINEスタンプ内で  
「島根県作業療法」と検索!

↓ご意見ご要望はこちらまで  
[kandreha@kandokai.jp](mailto:kandreha@kandokai.jp)



## 産休/育休/介護休暇を予定されている方へ 士会 休会制度の創設について

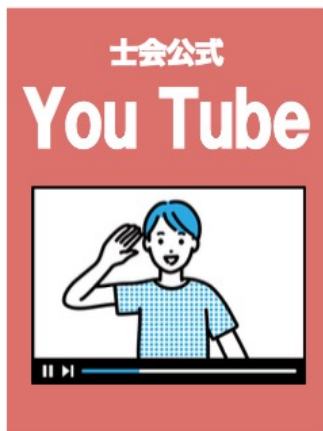
2023年度より利用開始となりました!



主に出産や育児、介護、長期の病気療養などを理由に長期の休職や退職をされた会員への支援として創設しました。

ぜひ有効にご活用ください!

詳細はこちら



島根県作業療法士会

## You Tube はじめました!



第一弾は事業部で行う作業療法フェスタの動画です。人に寄り添い、作業に寄り添い、心あたたまる動画です。  
左のQRコードから、ぜひご視聴ください!

チャンネル登録



チャンネル登録  
よろしくお願ひします!

詳細はこちら

